

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和元年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		照明器具を省エネタイプ（HF, LED灯）に更新 不要設備機器等の廃止及び撤去、空調設備室外機洗浄					
温室効果ガスの吸収等	区分	実施年度（令和元年度）				二酸化炭素換算(t)	
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等				t-CO ₂	
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用				t-CO ₂	
		グリーン電力証書の購入				t-CO ₂	
		グリーン熱証書の購入				t-CO ₂	
		オフセット・クレジットの購入				t-CO ₂	
		国内クレジットの購入				t-CO ₂	
		J-クレジットの購入				t-CO ₂	
	合計				① t-CO ₂		
	温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区分	基準年度 (平成28年度)	目標年度 (令和元年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和元年度)	対基準 年度比 (%)
温室効果ガス 排出量		(二酸化炭素換算(t))② 56,624 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 17,713 t-CO ₂	31.3	(二酸化炭素換算(t))③ 14,583 t-CO ₂	25.8	
<input type="checkbox"/> 差引排出量 A		(二酸化炭素換算(t))② 56,624 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 17,713 t-CO ₂	31.3	(二酸化炭素換算(t))③-① 14,583 t-CO ₂	25.8	
<input checked="" type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B		0.414 t-CO ₂ /m ²	0.321 t-CO ₂ /m ²	77.5	0.378 t-CO ₂ /m ²	91.3	
温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B		136663 m ² (補正延床面積)	55147 m ² (補正延床面積)	40.4	38600 m ² (補正延床面積)	28.2	
排出量等の 増減理由	温室効果ガス排出量の約35%を占める工場において、人員移動により温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値（B）が大幅に減少した。温室効果ガス排出量（A）も減少しているが、当初目標数値までは至らず、対基準年度比91.3%の結果となった。						
特記事項							

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記載した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記載したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。